

バドミントン 川崎町民会館

- 総合の部【優勝】福智町
- 一般男子の部(シングルス)
 - 【2位】谷川七斗 【3位】稲垣寿一
- 一般男子の部(ダブルス)
 - 【優勝】谷川七斗・谷川友斗 【2位】松永紘征・稲垣寿一
- 一般女子の部(ダブルス)
 - 【優勝】並川順子・池上あかり



バスケットボール 福智町金田体育館

- 一般女子の部【3位】福智町

硬式テニス 福智町屋内競技場

- 総合の部【優勝】福智町
- A級男子の部
 - ダブルス【優勝】木村晋作・荒牧和幸
 - C級男子の部
 - ダブルス【優勝】辻村啓太・沼口大希
 - A級女子の部
 - ダブルス【2位】甲斐美里・四郎丸絵梨
 - 【3位】甲斐由美・桑野ひさえ
- B級女子の部
 - ダブルス【優勝】沼口湧子・沼口桃花
 - 【2位】瀬戸芳美・甲斐千尋

グラウンドゴルフ 川崎町民運動公園

- 団体の部【3位】福智町
- 個人の部
 - 【4位】榎木正光 【6位】石谷博通 【9位】中村悦子

ソフトボール 赤村コミュニティー広場

- 壮実年【3位】福智町
- 一般【3位】福智町

弓道 香春町弓道場

- 総合の部【優勝】福智町
- 一般男子の部【優勝】福智町
- 一般女子の部【優勝】福智町

第55回 田川郡民体育大会 結果

主催/田川郡社会体育振興協会



高みを目指し 限界に挑戦

「スポーツフェスタたがわ」が郡内各地で開かれ、福智勢が鍛錬の成果を発揮し各種目で活躍しました。目標に向け、チーム一丸となって己の限界に挑戦した福智のアスリート。ここで、その大会結果をお知らせします。

剣道 糸田町民体育館

- 個人戦一般男子の部
 - 初段～三段【優勝】和田淳
- 個人戦一般女子の部
 - 二段～四段【2位】池田真琴



ゲートボール 福智町屋内競技場

- 【優勝】福智町(赤池) 【2位】福智町(金田)

卓球 川崎町中央体育館

- 団体の部【優勝】福智町
- 一般男子の部【優勝】石松勇輝
- 一般女子の部【3位】井倉知子



福智の風

▶福智町にふるさと納税したい、福智の品をお得にゲットしたい…と常々思っていた私にとって「福天小槌」は嬉しいシステム。ふるさと納税で県外に多くのリピーターがいる品もありますが、まずは地元の私たちがその魅力に気付き、広めていきたいものです。これから食べ物が美味しい季節。体重計は見て見ぬフリして楽しみます。(日吉)

▶交通安全ボランティアを引退された松村さんの取材に行きました(P17)。四つ角に毎朝立ち、21年間も生徒の安全を守ってきた松村さん。左手を無くされていますが、雨でも片手で傘と旗を持ってみんなに挨拶して、どんな生徒も松村さんだけに悪態をつかなかったそうです。生徒の話をする優しい笑顔がとても印象的でした。(黒崎)

写真が語る 福智の 写真館



紙芝居屋さん
提供者●羽田野 憲治さん
撮影日●不明

テレビが普及し、すっかり姿を消した紙芝居屋さん。自転車にのせた木箱をセットし、色々な物語を話してくれます。おまけのお菓子をもらうのも、子どもの大きな楽しみだったようです。

昔の写真を探しています！
岡 総務課広報・広聴係
☎22-0555

高齡者大学・はな句会
坊がつる望む大船雲の峰
空蟬の爪しつかりと立ててをり
青芝に転がって行く犬二匹
容赦なき震災更に男梅雨
千し鳥賊や潮風太陽そして吾
白く咲く命眩しや日の盛り
向日葵や太陽しかと受け止めて
九十九坂日傘時には杖として
蟬の穴自が心を覗くごと
蟬涼し夕暮れ時を又も鳴く
諦めぬ思ひは今も星祭

池田一步選
山本ひろし
香月 眸
小場 妙子
高津 澄子
千手 弘子
井上サワ子
福島ソマ子
熊谷カツミ
馬郡 京子
日高八重子
松本みつを

福智町金田公民館俳句教室
出目金の溺れおよぎの目玉かな
草刈って影とり戻す道祖神
洗濯機音軽やかに夏立ちぬ
頑丈な身体に感謝富士詣
万緑に五体を沈めいで湯川
峻嶺を背に耶馬の子の水あそび
晴れを呼ぶ物干竿の蝸牛
雲の峰幾重も越えて帰郷かな
老鶯や民芸村の朝の顔
一病ののさばる余生暑に籠る

岩井鬼童選
建部三由紀
松岡 篤枝
西田 真美
岩井 童子
安田 健一
小川 雪
新 芳枝
桂 啓子
加藤さみ子
小野 美幸

方城句会
補植苗角に置かれて田植終ゆ
一滴の涼しさありて手水鉢
千石峡流れ穏やか川蜻蛉
博多織献上帯留め夏稽古
泉州の水茄子てふの香の物
杉木立五重の塔を包む梅雨
背すじだけ伸ばしていたや梅雨の傘
さくらんぼ近江の城は海光に
灯のついていつもの守宮来てをりし

池田一步選
渡邊 一枝
尾崎 和子
木村 誠一
倉石 小夜
白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冨子
藤井耿之介
山本恵美子

四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

ともしび短歌会短歌詠草
緑こき里山の朝水張田にさざ波立てば陽のかがよいぬ
梅酒瓶ゆらせば青梅舞ひ踊りニヶ月待てよと我に微笑む
誘われてためらいながら給手紙に色かさぬればトマトの熟るる
石塊に足を取られて転びそう吾は八十路よゆっくり歩まむ
勤むる娘の遅き帰りを待ちわぶる障子に車影の写るをみつっ
賑やかに列なし植ゑし日の香しエンジン音やみ田植糸の終る
くもの巣に行く手はばまれまわり道千代女の思いにふれし心地す
樹の間より黄蝶出で来て肩に触れわれと連れだち山道登る

桑野 昭子
村上 美幸
福田キヨ子
越智 早苗
白石 信子
三村 和子
白石 清和
福田 昌